



前県議員

木佐木 ただまさ

日本共産党

見解を紹介します

news

Profile

・1984年山口県出身
・鶴見区馬場在住、神奈川大学法学部卒、横浜健康友の会会長、横浜東民商顧問

県立高校 5 つの統廃合と 6 つの定時制高校の募集停止が突然発表される

日本共産党県議団は大反対

先月、突如として神奈川県が5つの県立全日制高校の統廃合と6つの県立定時制高校の募集停止を発表しました。

日本共産党県議団は、こうした高校削減のおもとにある「県立高校改革」について2つの点から反対をしてきました。1つは、無理な特色づけを各校に当てはめることによって、学校から多様性を奪っていること、2つに再編統合に伴う高校削減が教育環境の悪化につながることで。

十分な議論もなくスケジュール示す 関係者から「乱暴すぎる」と批判の声

再編統合の対象となった高校にはどのような事情があるのか、募集停止の選定が妥当かなどは、具体的な計画に基づいて論議が不可欠であるにも関わらず、神奈川県は、県立高校改革の考え方やスケジュール等は示してあると説明するだけです。

県民や関係者からは「やり直しができる社会に定時制高校は必要」「公教育は、事情を抱える人を救い上げる機能を持ってほしい」「翠嵐高校など3学級存在している高校について、いきなり募集停止は乱暴」「夜間中学をつくったのに進学先がなくなる」といった声が多く寄せられています。

県は人数が少なくなっていることなどを理由にあげますが、とりわけ定時制は不登校生徒、



学びなおしを求める生徒、外国籍の生徒など様々な事情を抱えた生徒がいつでも、どこでも学べる多様な場を提供する役割を担っており、そのためには少人数で個々のニーズに応えられるようにすることが重要です。全国に比べても大規模な高校を作り集約しようとする神奈川県の方は、少人数学校を求める世論と世界の流れにも逆行したものです。

学び直し大学目指す人の場 切り捨てないで

私には、今現在翠嵐の定時制で学びなおし大学受験を目指している40代の友人がいます。働きながら毎日の予習復習、そして部活に本当に一生懸命取り組んでいる姿を見てきました。彼のような人を切り捨てるようなことは絶対に許したくありません。一人一人の学びを支える公の責任を投げ捨てさせないためにも、皆さんの声を力に頑張ります。

日本共産党が発行するニュースをご近所で配布していただけないでしょうか。100枚程度からOK。事務所までご連絡を。または、県ボランティアセンターにご登録を。→QRコードから。

